

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	富山大原簿記公務員医療専門学校
設置者名	学校法人 富山大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	医療秘書学科	夜・通信	974 時間	160 時間	
	経営ビジネス学科	夜・通信	642 時間	160 時間	
	情報ビジネス学科	夜・通信	1,380 時間	160 時間	
	ホテル・ブライダル学科	夜・通信	1,205 時間	160 時間	
	医療事務科	夜・通信	464 時間	80 時間	
文化・教養 専門課程	デザイン学科	夜・通信	1,731 時間	160 時間	
	法務行政学科	夜・通信		160 時間	※
	行政実務科	夜・通信		80 時間	※
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 法務行政学科および行政実務科

(困難である理由)  
両学科とも公務員受験を目指しています。特定の私学を公務員が応援することは、公務員の立場上困難であるため。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	富山大原簿記公務員医療専門学校
設置者名	学校法人 富山大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
理事（非常勤）	現職（社会保険労務士）	2021.4.1～ 2023.3.31	働き方改革に沿った職場環境改善の提言
理事（非常勤）	現職（税理士）	2021.4.1～ 2023.3.31	財務内容の改善の提言
理事（非常勤）	前職（他学校法人理事）	2021.4.1～ 2023.3.31	他学校の動向、教務・広報・就職の提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	富山大原簿記公務員医療専門学校
設置者名	学校法人 富山大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><u>事業計画書(シラバス)の作成過程</u> 学科長が、作成します。</p> <p><u>事業計画書の作成・公表時期</u> 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>	
授業計画書の公表方法	学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学生の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与または履修認定を実施している。具体的には、出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点等降順により、「秀」(16%)、「優」(34%)、「良」(34%)、「可」(16%)とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」(16%)、「優」(34%)、「良」(34%)、「可」(16%)とする。</p> <p><u>客観的な指標の算出方法</u></p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。100点満点で点数化し、その結果に基づき「秀」(16%)、「優」(34%)、「良」(34%)、「可」(16%)とする。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>入学後のオリエンテーションで学生へ授業履修方法等を周知しています。その際、次のように通知しています。</p> <p>諸教科の履修が認定されると、進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	富山大原簿記公務員医療専門学校
設置者名	学校法人 富山大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。
収支計算書又は損益計算書	学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。
財産目録	学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。
事業報告書	学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。
監事による監査報告（書）	学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業・実務		商業実務 専門課程	医療秘書学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 単位時間	1,370 単位時間	750 単位時間	40 単位時間	単位時間	単位時間
			2,160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		43人	0人	3人	1人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程 学科長が作成しています。 授業計画書の作成・公表時期 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」（16%）、「優」（34%）、「良」（34%）、「可」（16%）とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 入学後のオリエンテーションで学生への授業の履修方法等を周知しています。また、進級・卒業については、「諸教科の履修が認定されると進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。」という通知を行います。 卒業の認定に関する方針の公表方法は、学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
学修支援等
<p>（概要） 毎日の講義終了後に確認テストを実施し、満点でない場合は、学生は直してから帰宅する。その際、担当者が教室で確認・アドバイスをを行い、習熟状況等を把握する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）	21 人 （ 95.5 %）	1 人 （ 4.5 %）
（主な就職、業界等） 病院、クリニック等。就職先は弊学園ホームページにて公表。			
（就職指導内容） 就職指導セミナーや就職準備研修を通じて、自分の意見を持つことや発表方法の工夫など、多くの人に自分の考えを伝えることへの挑戦、グループワークを通してクラスが異なる者と課題に取り組み、チームワークの重要性を学ばせる。また、企業の方を招き、社会人としての心得なども学んでいます。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本医療保険事務協会主催診療報酬請求事務能力試験（医科） 12名合格			
（備考）（任意記載事項） 就職希望者は22名で、就職したのが21名です。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	1 人	2.5 %
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援課の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業・実務		商業実務 専門課程	経営ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 単位時間	1,452 単位時間	688 単位時間	20 単位時間		
			2,160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110 人		59 人	0 人	6 人	0 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程 学科長が作成しています。 授業計画書の作成・公表時期 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」（16%）、「優」（34%）、「良」（34%）、「可」（16%）とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 入学後のオリエンテーションで学生への授業の履修方法等を周知しています。また、進級・卒業については、「諸教科の履修が認定されると進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。」という通知を行います。 卒業の認定に関する方針の公表方法は、学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） 毎日の講義終了後に確認テストを実施し、満点でない場合は、学生は直してから帰宅する。その際、担当者が教室で確認・アドバイスをし、習熟状況等を把握する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
44 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）	42 人 （ 95.5 %）	2 人 （ 4.5 %）
（主な就職、業界等） メーカー、小売業、サービス業等。就職先は幣学園ホームページにて公表。			
（就職指導内容） 就職指導セミナーや就職準備研修を通じて、自分の意見を持つことや発表方法の工夫など、多くの人に自分の考えを伝えることへの挑戦、グループワークを通してクラスが異なる者と課題に取り組み、チームワークの重要性を学ばせる。また、企業の方を招き、社会人としての心得なども学んでいます。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本商工会議所主催簿記検定試験 1 級 2 名合格者 全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級 2 名合格			
（備考）（任意記載事項） 就職希望者は 4 3 名で、就職したのが 4 2 名です。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78 人	4 人	5.1 %
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援課の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業・実務		商業実務 専門課程	情報ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 単位時間	1,740 単位時間	400 単位時間	20 単位時間		
			2,160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		51人	0人	3人	0人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程 学科長が作成しています。 授業計画書の作成・公表時期 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」（16%）、「優」（34%）、「良」（34%）、「可」（16%）とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 入学後のオリエンテーションで学生への授業の履修方法等を周知しています。また、進級・卒業については、「諸教科の履修が認定されると進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。」という通知を行います。 卒業の認定に関する方針の公表方法は、学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
学修支援等
<p>（概要） 毎日の講義終了後に確認テストを実施し、満点でない場合は、学生は直してから帰宅する。その際、担当者が教室で確認・アドバイスをし、習熟状況等を把握する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）	17 人 （ 94.4 %）	1 人 （ 5.6 %）
（主な就職、業界等） 情報処理業界、小売業、流通業等。就職先は幣学園ホームページにて公表。			
（就職指導内容） 就職指導セミナーや就職準備研修を通じて、自分の意見を持つことや発表方法の工夫など、多くの人に自分の考えを伝えることへの挑戦、グループワークを通してクラスが異なる者と課題に取り組み、チームワークの重要性を学ばせる。また、企業の方を招き、社会人としての心得なども学んでいます。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 経済産業省主催基本情報処理技術者試験 4 名合格			
（備考）（任意記載事項） 就職希望者は 17 名です。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援課の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業・実務		商業実務 専門課程	ホテル・ブライダル 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 単位時間	1,589 単位時間	207 単位時間	364 単位時間		
			2,160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		18人	0人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程 学科長が作成しています。 授業計画書の作成・公表時期 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」（16%）、「優」（34%）、「良」（34%）、「可」（16%）とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 入学後のオリエンテーションで学生への授業の履修方法等を周知しています。また、進級・卒業については、「諸教科の履修が認定されると進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。」という通知を行います。 卒業の認定に関する方針の公表方法は、学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
学修支援等
<p>（概要） 毎日の講義終了後に確認テストを実施し、満点でない場合は、学生は直してから帰宅する。その際、担当者が教室で確認・アドバイスをし、習熟状況等を把握する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 ( 100 %)	0 人 ( 0 %)	7 人 ( 100 %)	0 人 ( 0 %)
（主な就職、業界等） ブライダル・ホテル業界。就職先は幣学園ホームページにて公表。			
（就職指導内容） 就職指導セミナーや就職準備研修を通じて、自分の意見を持つことや発表方法の工夫など、多くの人に自分の考えを伝えることへの挑戦、グループワークを通してクラスが異なる者と課題に取り組み、チームワークの重要性を学ばせる。また、企業の方を招き、社会人としての心得なども学んでいます。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本ブライダル文化振興協会主催ブライダルコーディネーター技能検定試験 3 級 2 名合格			
（備考）（任意記載事項） 就職希望者は 7 名です。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援課の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業・実務		商業実務 専門課程	医療事務科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,080 単位時間	610 単位時間	450 単位時間	20 単位時間		
			1,080 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25人		0人	0人	2人	1人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程 学科長が作成しています。 授業計画書の作成・公表時期 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」（16%）、「優」（34%）、「良」（34%）、「可」（16%）とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 入学後のオリエンテーションで学生への授業の履修方法等を周知しています。また、進級・卒業については、「諸教科の履修が認定されると進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。」という通知を行います。 卒業の認定に関する方針の公表方法は、学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
学修支援等
<p>（概要） 毎日の講義終了後に確認テストを実施し、満点でない場合は、学生は直してから帰宅する。その際、担当者が教室で確認・アドバイスをを行い、習熟状況等を把握する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)	0 人 (0 %)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2020 年度は医療事務科の入学者はおりませんでした。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援課の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業・実務		文化・教養 専門課程	法務行政学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 単位時間	1,500 単位時間	660 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			2,160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		100 人	0 人	5 人	0 人	5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程 学科長が作成しています。 授業計画書の作成・公表時期 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」（16%）、「優」（34%）、「良」（34%）、「可」（16%）とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 入学後のオリエンテーションで学生への授業の履修方法等を周知しています。また、進級・卒業については、「諸教科の履修が認定されると進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。」という通知を行います。 卒業の認定に関する方針の公表方法は、学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
学修支援等
<p>（概要） 毎日の講義終了後に確認テストを実施し、満点でない場合は、学生は直してから帰宅する。その際、担当者が教室で確認・アドバイスをし、習熟状況等を把握する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
46 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）	46 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）
（主な就職、業界等） 官公庁、メーカー、サービス等。就職先は弊学園ホームページにて公表。			
（就職指導内容） 学内に官公庁の担当者を招き、仕事や業務の内容を教えていただく。また官庁見学では、実際の現場を見ることで仕事や業務をより明確に理解する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公務員任官者 21 名			
（備考）（任意記載事項） 公務員希望者 29 名、民間就職希望者 17 名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援課の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業・実務		文化・教養 専門課程	行政実務科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,080 単位時間	1,020 単位時間	60 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			1,080 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		37人	0人	4人	0人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程 学科長が作成しています。 授業計画書の作成・公表時期 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」（16%）、「優」（34%）、「良」（34%）、「可」（16%）とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 入学後のオリエンテーションで学生への授業の履修方法等を周知しています。また、進級・卒業については、「諸教科の履修が認定されると進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。」という通知を行います。 卒業の認定に関する方針の公表方法は、学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） 毎日の講義終了後に確認テストを実施し、満点でない場合は、学生は直してから帰宅する。その際、担当者が教室で確認・アドバイスをし、習熟状況等を把握する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）	20 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）
（主な就職、業界等） 官公庁、サービス等。就職先は幣学園ホームページにて公表。			
（就職指導内容） 学内に官公庁の担当者を招き、仕事や業務の内容を教えていただく。また官庁見学では、実際の現場を見ることで仕事や業務をより明確に理解する。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公務員任官者 16 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	2 人	9 %
（中途退学の主な理由） 就職のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援課の設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業・実務		文化・教養 専門課程	デザイン学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,160 単位時間	200 単位時間	1,940 単位時間	20 単位時間	単位時間	単位時間
			2,160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		46人	0人	3人	5人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 授業計画書（シラバス）の作成過程 学科長が作成しています。 授業計画書の作成・公表時期 各年度の1月に次年度人事を発表し、3月末までに作成・公表します。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 出欠席・提出物・取り組み姿勢の状況および確認テスト・模擬試験等の総合平均点降順により、「秀」（16%）、「優」（34%）、「良」（34%）、「可」（16%）とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 入学後のオリエンテーションで学生への授業の履修方法等を周知しています。また、進級・卒業については、「諸教科の履修が認定されると進級・卒業となります。ただし、認定に関しては学年末に開かれる進級審査会・卒業審査会を経るものとする。」という通知を行います。 卒業の認定に関する方針の公表方法は、学内に据え置き、希望者が閲覧できるようになっています。</p>
学修支援等
<p>（概要） 毎日の講義終了後に確認テストを実施し、満点でない場合は、学生は直してから帰宅する。その際、担当者が教室で確認・アドバイスをし、習熟状況等を把握する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 （ 100 %）	0 人 （ 0 %）	10 人 （ 76.9 %）	3 人 （ 23.1 %）
（主な就職、業界等） クリエイター系の専門職での就職 2 名。その他は小売・製造・サービス系に就職。就職先は弊学園ホームページにて公表。			
（就職指導内容） 就職指導セミナー、就職準備研修を通じて、自分の意見を持つことや発表方法の工夫など、多くの人に自分の考えを伝えることを学ぶ。また毎月公表会を行い、自分の作品を外部の方に評価してもらい、作品の完成度を高めている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第 45 回富山県青少年美術展入選（3 名）			
（備考）（任意記載事項） 就職希望者 10 名です。就職未希望者は制作活動やアルバイトです。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	5 人	15.1 %
（中途退学の主な理由） 進路変更、病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援課の設置		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ビジネス税理士学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	その他には、教材費 100,000 円、施設設備費 210,000 円、入学選考料 20,000 円含む。 以下同じ。
ホテル・ブライダル学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	同 上
情報ビジネス学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	同 上
医療秘書学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	同 上
医療事務科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	同 上
法務行政学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	同 上
行政実務科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	同 上
デザイン学科	200,000 円	600,000 円	330,000 円	同 上
修学支援 (任意記載事項)				
<p>大原独自の学費支援制度を設けています。各種制度における認定ランクにより金額の免除を受けることが出来ます。免除額は、Aランク140万円、Bランク80万円、Cランク50万円、Dランク20万円、Eランク10万円、Fランク4万円です。</p> <p>①試験による特別奨学金制度 特別奨学生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。認定ランクはAランク～Fランクです。</p> <p>②取得資格による特別奨学生制度 大原に入学するまでに取得した資格を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。認定ランクはAランク、Cランク～Fランクです。</p> <p>③クラブ特別奨学生制度 高等学校3年間のクラブ活動で修めた成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて免除するものです。認定ランクはDランク、Fランクです。</p> <p>④デザインコンクール&amp;マンガコンクール特別奨学生制度 大原主催のデザインコンクールまたはマンガコンクールにおいて優秀と認められた方について入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。認定ランクはBランク～Dランク、Fランクです。</p>				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス <a href="https://www.toyama-ohara.jp/">https://www.toyama-ohara.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>評価の実施方法 毎年1回前年度の評価を評価委員の方に評価をいただく。学校の使命として、学生を定照だけではなく、地域貢献も使命ととらえ、地域のみなさまと共に地域および学校環境を築いていきたい。そこで、学校関係者評価は、下記の項目について実施する。</p> <p>(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動・教育環境 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 学生募集 (7) 財務 (8) 法令等の遵守 (9) 社会貢献・地域貢献</p> <p>評価結果は、学校運営・教育活動等に反映すべく活用する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北陸税理士会	2021. 4. 1～2022. 3. 31	税理士
地域住民	2021. 4. 1～2022. 3. 31	地域住民代表
卒業生	2021. 4. 1～2022. 3. 31	卒業生代表
株式会社 石橋	2021. 4. 1～2022. 3. 31	企業代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページアドレス <a href="https://www.toyama-ohara.jp/">https://www.toyama-ohara.jp/</a>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.toyama-ohara.jp/">https://www.toyama-ohara.jp/</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	富山大原簿記公務員医療専門学校
設置者名	学校法人 富山大原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		24 人	24 人	25 人
内 訳	第Ⅰ区分	12 人	13 人	
	第Ⅱ区分	－ 人	－ 人	
	第Ⅲ区分	－ 人	－ 人	
家計急変による支援対象者（年間）				－ 人
合計（年間）				26 人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0 人	－ 人
修得単位数が標準単位数の 5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0 人	－ 人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0 人	－ 人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0 人	0 人
計	人	0 人	－ 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	人	前半期	0 人	後半期	－ 人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）  
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
3月以上の停学	0 人
年間計	0 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給  
付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより  
認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0 人
訓告	0 人
年間計	0 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	人	0人
G P A等が下位4分の1	人	人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	－人	0人
計	人	－人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。